



2018 オートバックス全日本カート選手権 OK 部門 第 5 戦・第 6 戦

開催場所 茂原ツインサーキット(千葉県)
開催日 6月 30 日・7月 1 日
参加台数 OK クラス 25 台
天候 晴れ
路面状況 ドライ

～INTREPID JAPAN CORSE～
監督:佐藤寛二 ドライバー:佐藤巧望/水野皓稀
メカニック:伊藤進/伊藤照之
エンジン担当:K SPEED WIN
アドバイザー:井上寛之



2018 全日本カート選手権も中盤 灼熱の茂原大会へ(茂原/第 5 & 6 戦)

2018 年度の全日本カート選手権もいよいよ折り返しの第 5&6 戦。舞台は毎年灼熱のレースとなる千葉県は茂原市にある茂原ツインサーキット。ブリヂストン、ヨコハマ、ダンロップという 3 つのタイヤメーカーがスペシャルタイヤでしのぎを削る世界でも稀にみるカテゴリーとなっているこの日本最高峰 OK クラス。ワークスチームである INTREPID JAPAN CORSE には佐藤巧望が開幕戦の怪我からハイスピードで復活。前回大会の本庄で素晴らしい走りを見せた水野皓稀とともに灼熱、ハイスピードの茂原に挑む。



佐藤 巧望選手

水野 皓稀選



【タイムトライアル】佐藤 8 位 / 水野 25 位(エンジントラブル)



前日の練習走行、公式練習とTop10以内のタイムを出し、まずまず好調といえる2ドライバーのタイムトライアルは、6月30日の午後15:40にスタート。佐藤は他のドライバー同様、5周目にベストタイムを出し8位、しかし水野にはエンジントラブルが発生し、正常な走行ができずタイムとしては最下位に…。最低でもTop10以内のタイムが出せただけに残念だが、気持ちを切り替え予選へ臨む。

【第5戦 予選】佐藤 24 位(リタイア) / 水野 9 位

夕方5時近くに始まった予選。スタートが得意な佐藤だが、このスタートでは位置取りが悪く2コーナーで弾かれてしまう…。マシンのダメージ的に走行不能でそのままリタイア。水野の方は、スタートでのジャンプアップこそ出来なかったものの、エンジンも調子を取り戻しスピード回復。1周に1台のハイペースで前のドライバーをパッシングしながらもベストタイムも良好。結果、16台をパスし9位でのフィニッシュとなった。水野は西地域出身の選手。今期は初めてのOKクラス&スペシャルタイヤ、また初めてのサーキットでも順応性の高さを見せている。翌日の決勝に期待が持てる走りで土曜日を終えた。



【第5戦 決勝】佐藤 5 位 / 水野 23 位(リタイア)



月が替わり、7月1日日曜日の第5戦決勝。気温は土曜日より高く路面温度も非常に高い。昨日の予選で16台をパスする走りを見せた水野のタイヤは、開発陣も「素晴らしい」と漏らすほど、残量も摩耗の仕方もハイレベル。また予選では残念ながらクラッシュで止まった佐藤も当然タイヤはほぼ新品。面白いレースになる!と期待されたが、なんと水野がスタートのストレート上で後続車と接触…リタイアに終わってしまう…。残された佐藤は最後列からスタート。スタート直後は前のマシンのパスに手こずるもの、TOP5と変わらぬタイムで周回。ハイペースで前方のマシンをパス。終わってみればコチラも19台パスの5位でフィニッシュ。自己最高位タイとなったが、スタート直後～前半のレース運びを上手くすれば、表彰台にも…といった走りを見せた。2選手とも素晴らしいパフォーマンスを秘めながら、両選手が交互にストップする波乱の展開…。第6戦では安定した走りで、表彰台を狙いたいところだ。

【第6戦 予選】佐藤 9 位 / 水野 13 位

第6戦の予選では再び、タイムトライアルの順序でスタート。最後尾スタートの水野はつらい位置だが、何とかタイヤをいたわりつつ前方に行きたいところだ。スタートは両選手ともますます…しかしこの予選に限ってはトップから15位くらいまでのタイム差がコンマ2程と差がつきにくい…気温的なものは不明だが、佐藤も8位スタートからずっと中段グループで揉まれている。水野も順位は上げているが、全選手 全体的にハイペースでパッシングに時間を要しているようだ。しかしそれでも12ポジション上げて13位フィニッシュ。ここでもタイヤは状態がいい。決勝は4時間ほど時間をあけて行われるため、もしかすると、この予選よりかはコンディションが変わり各選手のペースもばらけて違った展開になるかもしれない。



【第6戦 決勝】佐藤リタイヤ / 水野7位

7月1日の午後5時前、決勝がスタート。が、しかし佐藤のエンジンがかからない…再度押し掛けするがエンジンが始動する兆しすら見えず、レースは無情にもスタート。原因はスパークプラグの失火だった…。ごくまれに発生する突如としたプラグの壊れのようだった…。怪我から懸命にリハビリをして復活した佐藤にとっては本当に無念のリタイヤだった…。再び一人残された水野は、スタートで若干揉まれたが、ペースは良く、トップの選手とも遜色ない。さすがに上位陣はペースがいいので毎周回に1台は不可能だが、初めてのコースとは思えないレースさばきで順位を上げていく。レース後半は上位選手とのレースで抜きつ抜かれつとなり結果7位でゴール。苦しいタイムトライアルの順位からよく追い上げてくれました。

今回のレースでは、両ドライバーともに好調でしたが、その二人が交互にストップする本当に苦しい展開…。第5戦のみならず第6戦までもそのような展開になり非常に残念でした…。しかし運も実力と考えグングン伸びている二人のドライバーとともに過去連勝経験のある得意の仙台はスポーツランド SUGO に臨みたいと思います。今回もご声援ありがとうございました。



INTREPID JAPAN CORSE 佐藤奨二 監督



茂原大会は佐藤選手は復帰戦、水野選手は前回大会で速さは示されたのでそれをもう一度再現する事を各自目標に挑みました。チームとしては更なる車両改善を図り、持ち込んだ車両はある程度機能したと思っております。

レースでは、どちらかの選手がリタイアする状況でなかなかうまく流れがつかめず少し物足らない結果となってしまいました。この高温で非常に厳しい環境で選手・メカニックは最善を尽くしてくれ今後に繋がる事が出来たことは非常に重要な経験が出来たと思います。次戦 SUGO 大会はさらに改善して上位で戦える様準備致します。

ドライバー 佐藤巧望 コメント



5戦の予選でクラッシュし、リタイアした為最後尾からのスタートでした。レース序盤にかけて一気に上がろうという作戦でしたが、思ったよりか前が混戦でなかなか上がれず結果5位ゴールでした。

6戦の予選のペースがあまり良くなくタイヤ的にも上手くマネージメントできず9位スタートでした。

5戦からペースが悪くないのは分かっていたので、同様に決勝で上がろうとしていたのですが、スタートの時にエンジンがかからず結果リタイアになってしまいました。調子がよかつただけに不甲斐ない結果となってしまいましたが、次戦の菅生では更に上位を目指せるポテンシャルがあるので気を引き締めて頑張ります。

ドライバー 水野皓稀 コメント



今回の茂原のレースでは色々なことが噛み合わなく、マシントラブルやクラッシュなどが起きました。調子が良くなっていただけにとても勿体無かったです。レース中タイヤを痛める走りをしてしまいレースの終盤がきつくなってしまったので次の菅生ではタイヤのマネージメントをしっかりとし、決勝の後半に楽な展開に持ち込めるようにしたいです。

